

就職活動に関する短大生の行動と意識

～就職活動状況調査結果報告～

棚橋美奈子 伊藤功子
松尾良克 本橋 進

はじめに

1997（平成9）年度年次経済報告（経済白書）の副題は「改革へ本格起動する日本経済」であり、そして2000（平成12）年度のそれは「新しい世の中が始まる」であった。すなわち、経済白書では、日本経済は、1997年ごろを境にバブル崩壊後の経済の惨状を脱し、自律回復に向かうかのごとき分析であった。

しかし、最近数年間の実体経済は、きわめて深刻な状況にある。経済ばかりでなく、社会全体の閉塞感はつものばかりである。そんな日本の社会全体の動きの中で、ことのほか雇用の環境は悪化の一途をたどっているといえよう。ここ数年の新卒学生の就職環境は「氷河期」あるいは「超氷河期」のキャッチフレーズから抜け出せないのが現状である。

きわめて深刻な雇用環境にあって、短大生は、就職活動でどんな行動をとり、何を思い、何を望んでいるのであろうか。そして、学生の就職活動を支援するものは、年々変化する採用側の動向および学生自身の職業意識と行動を的確に把握し、どんな施策をとるべきなのか大変難しい舵取りを迫られている。なにがしかの就職活動の支援に資する材料を得るために、平成8年度以降、本学学生に対して就職活動についての行動と意識に関する調査をおこなってきた。ここにその調査結果の一端をご報告する。

1. 調査の背景

本論にはいる前に、本調査の背景となっている下記事項について簡単にふれておきたい。

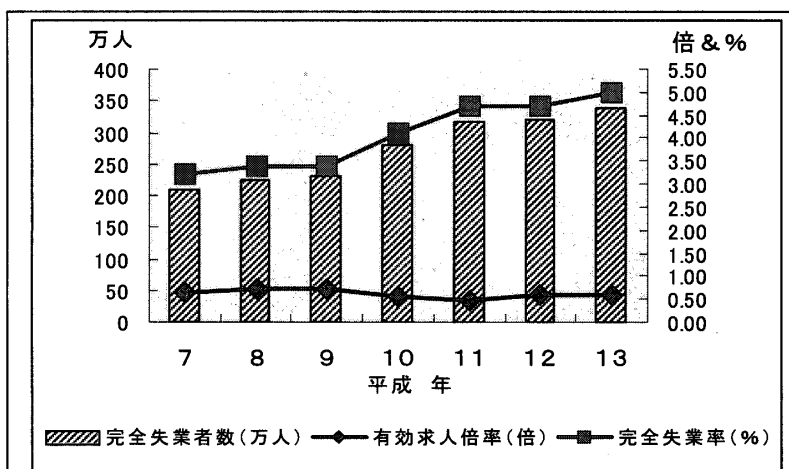
（1）平成8年以降の一般雇用情勢（就職環境の状況）

日本の雇用状況を端的にあらわす失業者数・有効求人倍率・完全失業率の3指標は、いずれもきわめて憂慮される状況が続いている。〔図1〕

すなわち、完全失業者数は平成8年以降6年間で100万人増加し、その数350万人ともいわれる。完全失業率は、年々悪化し、これも5%を超える状況にある。また、有効求人倍率も改善はみられず、求職者2人に1つの職場という状況が恒常化している。

（2）本学への求人状況と本学卒業生の就職状況

上記の雇用環境を反映して、新規学卒者の就職環境はきわめて厳しい状況が続いており、



〔図1〕日本の雇用状況の指標

総務省統計局「労働力調査」、および
厚生労働省「職業安定業務統計」から作成

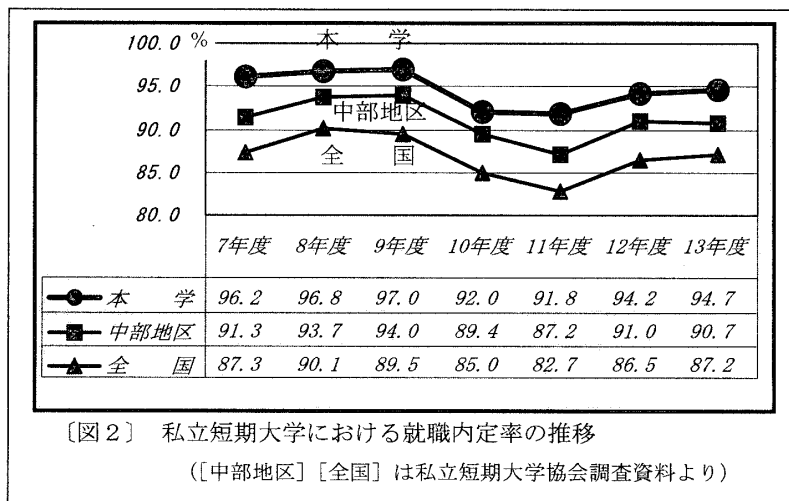
[表1] 求人票の受付状況推移

	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度
増減指数(8年度=100)	100	114.7	105.7	81.9	80.4	82.8
対前年度増減率(%)		14.7	-7.8	-22.5	-1.9	3.0

このような状況をあらわすひとつのデータとして本学への求人件数の状況を指数で見ると、平成9年度はやや上向きであったが10年度以降は残念ながら毎年下降線をたどっている。[表1]

一方、本学卒業生の就職率は、その年々の雇用環境を如実に反映しながら、一応90%以上の水準で推移してきた。

[図2]



(3) 本学の就職活動支援策の概要

短大生の就職活動は本来「自分で活動し自分で決める」という主体性のある行動が基本であり、この自発的行動のための動機付け、情報および資料の提供、活動のための助言指導が就職活動の支援であるというのが基本的なスタンスである。

上のような考え方を基本として、学生に対する支援策は、次の4つの柱で組み立てている。

①就職ガイダンス

就職ガイダンスは、次のように年間4回設定している。

第1回は1年次の12月中旬に学科または専攻別に行う。テーマは、最近の就職環境、就職することの意味、心構えなど、就職活動の動機付けを主体とし、当面の1月から3月にかけて取り組むべきことを説明する。

第2回は、ほとんどの2年生にとって就職試験の直前期にある4月中旬にクラス別に行う。内容は、履歴書等受験書類の整備、受験先訪問にあたっての電話予約の注意事項、面接時の留意事項、企業合同説明会への積極的参加の重要性など。この第2回目を実際に応募の行動に入るための最重要ガイダンスとして位置付けている。

第3回は、主として幼稚園・保育園・福祉施設への就職を目指す学生を対象とし、行動開始のタイミングを考慮して夏季休暇直前の7月初旬にクラス別に行う。

第4回は、11月初旬にこの時点で就職の内定を得ていない学生を対象に行う。

②保護者対象の就職活動説明会の開催

一般的な就職事情、本学の就職活動支援の内容、本人の取り組みの状況などを保護者の方にご理解頂き、折に触れて本人への適切な助言をお願いすることを目的としてこの説明会を行う。開催の時期は、学生への第2回就職ガイダンス直後の4月下旬を予定する。

③個人面談

一人一人の就職に対する意識、選びたい職業の確認、相談事の内容の把握など以後の支援のための基礎資料を得ることを目的として、就職を希望する学生全員を対象に行う。時期は、一般企業志望者に対しては第2回就職ガイダンスおよび保護者対象の就職活動説明会を終えた後の4月下旬、幼稚園・保育園・福祉施設志望者については夏季休暇に入る直前の7月初旬に予定する。

④就職教養講座

一般的には「企業研究」といわれているもので、5月中旬頃に、岐阜県内主要業種の代

表的企業の人事担当者およびその企業に就職している本学の卒業生を招聘し、企業が求める人物像および仕事の内容あるいは就職試験の体験等について講義を依頼する。また、同じ趣旨で、幼稚園の園長および園の先生として活躍している本学の卒業生を7月上旬に招聘する。

2. 本調査の目的・方法・内容

(目的) 年間3～4回の就職ガイダンスでの一方的な支援説明の場や日常の個別の面談では把握できない学生個々の行動・意識等について本音を掌握し、この調査から読みとれる問題点あるいは課題をピックアップし次年度以降の支援施策に資することを目的としている。また併せて、基本的な諸施策の正否有効度を検証する。

(方法) 一般的に就職活動の終息期となる卒業直前の1月初旬に2年生のほぼ全員を対象として、無記名による回答方式の調査用紙を配布する。回答用紙の回収は、配布の約2週間後とする。

(内容) 行動と意識の両面についておよそ下記の質問を設定する。

▶行動に関する事項

- ・就職活動の開始時期と進路決定時期
- ・求人情報の入手先
- ・資料請求の量
- ・資料室の利用度
- ・インターネットの利用状況

▶意識に関する事項

- ・就職ガイダンスで参考になった点、ならなかった点、更に詳しく知りたかった点
- ・就職部からの支援を望む事項
- ・就職部からの求人紹介の方法について
- ・その他就職部への意見・要望を自由記述で。

〔表2〕 調査用紙の配布・回収状況

	配布日	配布数	回収日	回収数	回収率
8年度	1月21日	991	1月31日	749	75.6%
9年度	1月21日	838	1月30日	660	78.8%
10年度	1月8日	688	1月14日	518	75.3%
11年度	1月8日	559	1月17日	347	62.1%
12年度	1月9日	488	1月15日	291	59.6%
13年度	1月7日	300	1月18日	170	56.7%
合計		3864		2735	70.8%

3. 調査の結果

平成8年～13年度まで各年度の調査用紙の配布および回収の状況は〔表2〕のとおりで、6年間の総回収数は2735件、回収率は70.8%であった。

なお、回答者がすべての質問に漏れなく記入しているわけではないので、以下に述べる結果の集計では、それぞれの質問に対する回答ごとに回答数の合計は異なっている。

では、以下で各質問毎に回答の集約結果をみる。

質問0 就職活動の開始時期はいつごろで、進路を決定したのはいつごろですか？

まず最初に学生たちはいつごろから就職活動を開始し、いつごろに進路を決めているのだろうか。概要、次のように回答している。

なにをもって“就職活動の開始”とみるかについては、ここでは、応募希望先への訪問の予約電話、合同企業説明会（企業セミナー）への参加など、具体的に行動を開始した時点とする。また、“進路決定の時期”は、内定の通知を得て、以後の活動を中止したときとする。

〔開始の時期〕

総回答者数（平成8年～13年の6年間の合計回答者数）は、1714人であった。質問では、ひとり一人が具体的に○月○旬と記入する方式である。記入された個々のデータを、開始時期として次のように4つの時期にグループ化して集計を試みた。

- 3月以前（2年生になる前）
- 4月～6月（夏期休暇に入る前の時期）

- 7・8月 (夏期休暇期間中)
- 9・10月 (後期の初め頃)
- 11月以降 (後期後半頃)

そして、各グループにどれほどの人数が入り、その構成比がどのようになるのかを求めてみた。〔図3〕が、各年度ごとにみたその傾向である。

この結果をみると、全体の35%~40%ほどの学生は4月~6月の間に活動を始めていた。しかし、13年度に至ってこの割合は20%程度に減少した。また、3割程度の学生は夏休み期間中に活動を始めている。さらに、夏休みを終わって、9月10月に開始する学生の割合が年度を追うごとに増えている。

〔進路決定の時期〕

進路決定の時期についても、開始の時期と同様の手法で求めてみた。〔図4〕

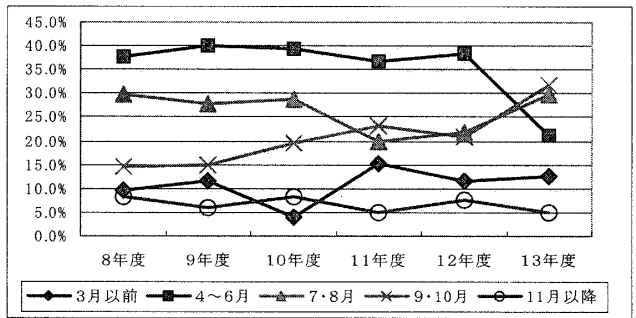
進路の決定については、各年度とも11月以降に決めた学生の比率が最も高く、次が、9・10月である。最近の短大生は秋ごろになって内定を得る例が比較的多く、このように、全体の7割ほどの学生が9月~11月に進路を決める現象は当然の帰結でもあろう。

質問1 就職活動中、求人情報をどこから取り入れましたか？ (複数回答)

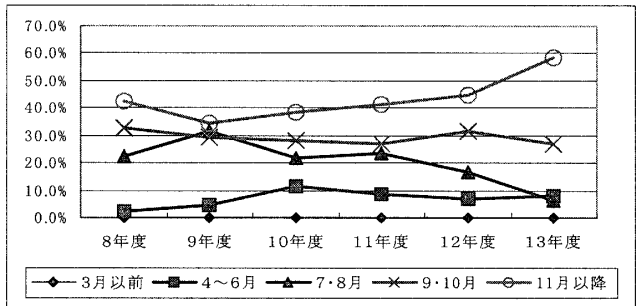
この質問では、下のよう設定した選択肢のなかから該当する項目を選択する、複数回答方式である。

- | | |
|------------------|-----------|
| 1 就職部の先生 | 2 担任の先生 |
| 3 その他の先生 | 4 高校の先生 |
| 5 先輩 | 6 家庭・親戚 |
| 7 友人 | 8 アルバイト先 |
| 9 求人票 | 10 就職の手引き |
| 11 就職資料室 | 12 掲示板 |
| 13 学生情報センター | 14 企業展 |
| 15 インターネット | 16 電話帳 |
| 17 ガイドブック (雑誌名) |) |
| 18 新聞 (新聞名) |) |
| 19 市販の求人雑誌 (雑誌名) |) |

この質問に対する総回答者数 (平成8年~13年の6年間の合計回答者数) は、2356人で、年度別では、



〔図3〕就職活動の開始時期の傾向



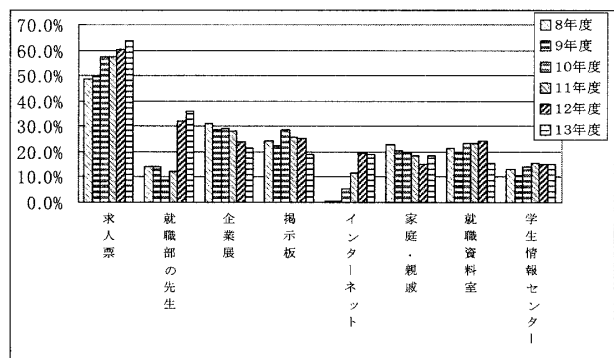
〔図4〕進路決定の時期の傾向

8年度643人、9年度566人、10年度451人、11年度299人、12年度249人、13年度148人であった。

各年度毎に、上記の情報入手先の構成比率を求め、上位の8種の入手先をみたのが〔図5〕である。

本学へ寄せられる求人票を情報源としている比率が各年度とも圧倒的に多いのは当然のことかもしれない。次の「就職部の先生」からというのが最近2年間で急速に多くなっている。これは、2年ほど前から就職部で具体的な応募先候補を挙げて「応募を考えてみてください」という情報を学生個人名指しで出していることの結果とみられる。(この関連として、質問9で述べる)。

インターネットを情報源としたという回答



〔図5〕求人情報をとり入れている先 (上位8種)

が、最近2年で多くなっているのは、インターネット利用の普遍化現象のあらわれであろう。

質問2 資料請求ハガキを企業へ何枚出しましたか？

従来、ハガキあるいは封書によって資料の送付を依頼することは、就職活動の第一歩として位置付けられてきた。それは次のような理由による。

- ①就職活動のための情報収集の積極性を示す一つの指標としてみる。
- ②採用応募先の詳しい事業内容を把握するための有用な手段であること。
- ③応募するかしないかの判断材料とする。
- ④応募した場合の面接時等の知識収集源とし

て。

本調査でみると、請求の量としては決して多くないといえる。〔表3〕

5枚以内程度の発送枚数が圧倒的に多く、また1人当りの請求通数も3枚ほどにとどまっている。

質問3 就職資料室を利用したことがありますか？

求人先別にファイルした各事業所案内（過去2年分）、求人情報誌、各種就職関係資料等を収納してある資料室は、だれでも常時自由に閲覧できるよう開放してある。

この資料室の利用状況についての回答は〔表4〕のとおりである。

〔表3〕 資料請求ハガキの発送人数と1人当りの発送枚数

（発送人数）							
	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	計
5枚以内	186	127	137	61	39	16	566
6～10枚	53	30	29	9	7	2	130
11～20枚	33	18	7	7	4	1	70
21枚以上	11	4	4	2	1	0	22
合計	283	179	177	79	51	19	788
（1人当り発送枚数）							
5枚以内	2.9	2.8	2.7	2.7	2.6	1.8	2.8
6～10枚	9.0	8.4	8.4	8.0	8.1	6.5	8.6
11～20枚	16.8	19.0	16.9	17.0	18.8	12.0	17.5
21枚以上	37.5	28.0	28.8	40.0	25.0		33.9
合計	7.0	5.9	4.8	5.5	5.0	2.8	5.9

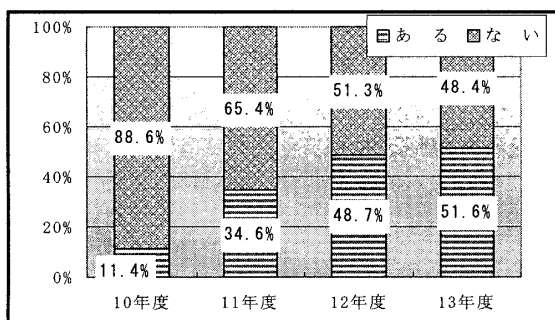
〔表4〕 就職資料室を利用したことは？

	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	計
ある	474	421	332	234	205	98	1764
ない	174	154	124	64	55	46	617
計	648	575	456	298	260	144	2381
無回答	101	85	60	49	31	26	352
合計	749	660	516	347	291	170	2733
ある	73.1%	73.2%	72.8%	78.5%	78.8%	68.1%	74.1%
ない	26.9%	26.8%	27.2%	21.5%	21.2%	31.9%	25.9%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
1人平均利用回数							
3月以前	2.1	2.0	2.3	2.0	2.1	1.9	2.1
4月	2.2	2.3	2.9	2.5	2.5	1.6	2.3
5月	2.4	2.6	3.0	2.6	2.6	1.7	2.5
6月	2.6	2.7	2.9	2.5	3.4	2.0	2.7
7～8月	3.0	2.7	3.5	2.8	3.2	2.3	2.9
9月以降	2.7	3.1	3.7	3.1	3.6	3.0	3.2

過去、およそ70%程度の学生がここを利用しているようである。その1人当たりの平均利用回数は、月におよそ2回程度であるが、時期的には、9月以降の利用頻度が若干多くなる傾向にある。

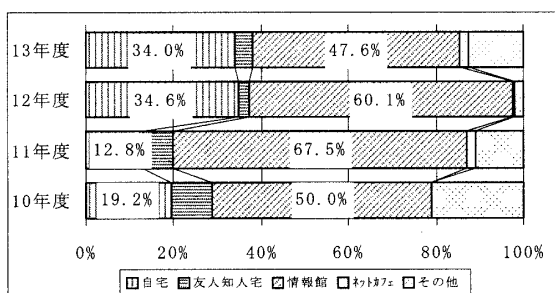
質問4 就職活動にインターネットを利用しましたか？

この質問は、平成10年度からとりいれた。利用度は年々増加傾向にあり、平成13年度に至って、利用したことが「ある」が「ない」を僅かながら上回った。〔図6〕



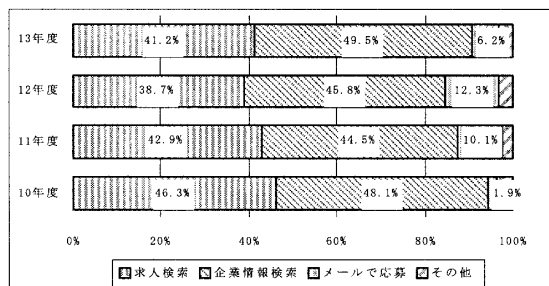
〔図6〕 インターネットを利用したことは？

インターネットを使う場所として、情報館と自宅の割合が圧倒的に多いのは利用環境として当然であろう。「自宅」と答えた比率が次第に増加傾向にあるのは、自分が使うパソコンの普及度と連動しているものと推測する。〔図7〕



〔図7〕 インターネットを利用した場所

次に、利用目的については、求人情報の検索および企業情報の検索が大きなウェイトを占めている。当然であろう。メール機能による応募の例は少ないようである。〔図8〕



〔図8〕 インターネットを利用した目的

質問5 就職ガイダンスで参考になった点を下の枠内から選んでください。(複数回答)

質問6 就職ガイダンスでもっと知りたかった点を下の枠内から選んでください。(複数回答)

質問7 就職ガイダンスで参考にならなかった点を下の枠内から選んでください。(複数回答)

- | | |
|----------------|------------|
| 1 自己分析方法 | 2 就職活動の仕組み |
| 3 今年の就職動向 | 4 就職協定について |
| 5 職種について | 6 業種について |
| 7 給与の仕組み | 8 保険等福利厚生 |
| 9 資料請求の仕方 | 10 面接の仕方 |
| 11 契約社員・派遣社員 | |
| 12 就職したい企業の探し方 | |
| 13 公務員の活動の仕方 | |
| 14 幼稚園の活動の仕方 | |
| 15 会社訪問の仕方 | 16 履歴書の書き方 |
| 17 電話のかけ方 | 18 服装について |
| 19 求人票の見方 | 20 就職試験内容 |
| 21 お礼状の書き方 | |

質問5・6・7は、実施してきた就職ガイダンスの内容について学生の反応や意見を集約し、今後の支援対策の方法や内容の改善に資することを目的として設定した。質問5・6・7は、共通選択肢(同じ選択項目)に対する複数回答方式で回答を求めたもので、質問相互に関連が深いので、以下3問一括して回答結果をみることにする。

なお、以下の説明または図表のなかで使う語句の意味を、あらかじめ次のとおり定義する。

満足点：「就職ガイダンスで参考になった」点(項目)

やや不満：「就職ガイダンスでもっと知

りたかった」点（項目）

不満足点：「就職ガイダンスで参考にならなかった」点（項目）

有効回答数：回答記入のあった人数の合計値

就職ガイダンスは、毎回の所要時間約1時間20分とし、年4回ほど実施してきた。そのガイダンスで、質問であげた選択肢21項目について順次何らかの形で説明してきたつもりであるが、その時々都合で、説明の内容に濃淡があったことは否めない。また、学生側は4回のガイダンスすべてに出席しているとは限らず、その時々ガイダンスに出席した学生の受け止め方や理解度にも差がある。

このような状況を前提として、求めた回答を要約すると〔表5〕のような結果となった。この表から『満足点』『やや不満』『不満足点』の各グループについて、大要次のような反応が読みとれる。

(1)「今年（各年度）の就職動向」の説明に対しては、毎年、20～30%程の学生は“参考になった”として、比較的満足度は高い方にランクされる。

(2)「就職活動の仕組み」については、毎年およそ20%強の学生は“参考になった”として評価しており、満足度は高い方にランクされる。

(3)「面接の仕方」「会社訪問の仕方」「履歴書の書き方」「電話のかけ方」などは、一応満足点として高いランクにあるが、決して多くの学生が満足（参考になった）としているわけではない。

(4)「面接の仕方」は、毎年、『やや不満』（もっと知りたかった）のトップにランクされており、前記（3）との関係でも、学生の反応はまちまちと解釈される。今後の対応の課題であろう。

(5) 同様に、「就職したい企業の探し方」

〔表5〕 就職ガイダンスに対する学生の反応（回答比率の大きい上位数項目を抜粋）

●満足点（参考になった点）

	8年度		9年度		10年度		11年度		12年度		13年度		全体数	
	比率	順位	比率	順位	比率	順位	比率	順位	比率	順位	比率	順位	比率	順位
2. 就職活動の仕組み	27.8%	2	22.9%	2	22.6%	2	20.9%	2	22.9%	1	23.7%	1	24.0%	2
3. 今年の就職動向	35.2%	1	37.7%	1	45.6%	1	43.6%	1	16.3%	2	18.3%	2	35.7%	1
10. 面接の仕方	14.7%	4	7.7%	8	13.2%	3	13.5%	4	16.3%	2	18.3%	2	13.2%	3
14. 幼稚園の活動の仕方	4.6%	8	10.4%	3	9.1%	6	14.1%	3	9.8%	5	12.9%	6	9.0%	6
15. 会社訪問の仕方	13.6%	5	10.4%	3	10.8%	4	5.5%	8	6.5%	7	6.5%	9	10.1%	5
16. 履歴書の書き方	4.4%	9	9.4%	5	9.8%	5	12.3%	5	7.8%	6	8.6%	8	8.2%	7
17. 電話のかけ方	19.0%	3	8.4%	6	8.7%	7	8.0%	6	16.3%	2	16.1%	4	12.8%	4

●やや不満（もっと知りたかった点）

10. 面接の仕方	17.5%	1	24.2%	1	21.2%	1	17.9%	1	26.7%	1	26.0%	1	21.3%	1
12. 就職したい企業の探し方	13.4%	3	12.9%	4	11.6%	4	15.0%	2	10.8%	3	8.2%	7	12.5%	2
14. 幼稚園の活動の仕方	10.6%	5	10.2%	6	8.4%	8	6.4%	12	5.0%	9	4.1%	14	8.5%	8
15. 会社訪問の仕方	11.9%	4	9.8%	7	12.4%	3	7.1%	7	10.0%	4	6.8%	10	10.4%	6
16. 履歴書の書き方	8.4%	7	8.6%	9	7.2%	11	8.6%	6	12.5%	2	13.7%	3	9.0%	7
17. 電話のかけ方	10.3%	6	14.1%	2	10.0%	6	10.7%	5	7.5%	8	11.0%	4	10.9%	4
20. 就職試験内容	6.3%	11	10.5%	5	14.0%	2	13.6%	3	8.3%	5	15.1%	2	10.5%	5
21. お礼状の書き方	14.4%	2	13.7%	3	10.8%	5	12.9%	4	8.3%	5	11.0%	4	12.4%	3

●不満足（参考にならなかった点）

1. 自己分析方法	13.2%	3	12.3%	1	10.2%	2	17.9%	1	8.7%	2	18.2%	1	12.7%	1
3. 今年の就職動向	11.8%	4	7.5%	7	13.4%	1	5.4%	13	8.7%	2	6.1%	7	10.0%	4
12. 就職したい企業の探し方	9.0%	7	9.4%	3	9.4%	4	8.9%	3	10.9%	1	0.0%	19	8.8%	5
14. 幼稚園の活動の仕方	18.8%	1	11.3%	2	8.7%	6	8.9%	3	6.5%	7	9.1%	4	11.9%	2
20. 就職試験内容	14.6%	2	9.4%	3	10.2%	2	7.1%	8	8.7%	2	3.0%	14	10.4%	3
21. お礼状の書き方	9.7%	6	5.7%	10	7.9%	7	12.5%	2	0.0%	20	15.2%	2	8.2%	6

※ 1 回答者比率の大きい上位数項目を抜粋。

※ 2 比率の算出方法：各選択項目の回答者数÷有効回答者数。

※ 3 複数回答であり、上記の比率は百分比の構成比率ではない。

※ 4 「順位」は、各年度毎に回答比率の大きい順に求めた。

「幼稚園の活動の仕方」「会社訪問の仕方」「電話のかけ方」などについて『やや不満足』の比率が高くなっている。

- (6) 「履歴書の書き方」が最近2年間で『やや不満足』の上位にあがっているのはやや意外な感がある。
- (7) 『不満足点』(参考にならなかった)の上位ランク項目に、毎年「自己分析方法」があがっている。この項目については、限られたガイダンス時間内での説明には限界があり、ガイダンス以外で説明の機会を設けること、そして、説明すべき内容などが検討課題となろう。
- (8) 『不満足点』の上位ランク項目に分類された「就職試験内容」も、上記(7)同様の対策が必要だろう。

質問8 就職部で実施して欲しかった取り組みはありますか？

この質問は、自由に記入する方式で、平成11年度以降に設定したものである。回答記入のあった主な項目および記入の合計実数は下のとおりである。全体として、回答記入の件数は少ないが、過去、実施してこなかった試験対策関係についての希望が多いようである。

	11年度	12年度	13年度
性格検査	24	28	11
模擬試験	24	24	24
公務員模擬試験	20	16	17
マナー講座	16	20	6

質問9 就職部からの求人紹介に、掲示板を利用して呼び出しを行いました。呼び出しに関してどう感じましたか？(下記回答項目のなかであてはまるものに○印をつける)

- 1. このままでよい (意見、感想等)
- 2. 他の呼び出し方法がよい(放送、メール、自宅TELなど)
- 3. 個人で活動するので紹介のための呼び出しは必要ない
- 4. その他 ()

この問は、2年ほど前から設定したものである。求人情報は細大漏らさず所定の専用掲示板に掲示しており、学生は、常に掲示物に注意して行動に繋げるのが大原則である。しかし、最近の学生の行動をみるに、必ずしも掲示板を常に注視しているとはいえない節がある。さらに、掲示物を見ないばかりでなく、誰かに情報を与えられ、促されてはじめて活動に入る例が多いのではないかという見方がでてきた。そうであるならば、不本意ではあるがこちらから積極的に個人別に情報を与え、タイムリーな活動を期待しようという思いが募った。その一つ的手段として、特に秋以降の求人について、こちらから求人情報を個別に連絡し、本人に直接手渡しする方法を取り入れた。この方法は、本人が就職部へ来部した際面談により直近の活動状況を聞き取りできるという副次的な効果は認められる。

このような手法については、過保護であり、指示待ち人間増加の懸念などのマイナス効果と、逆に学生へのサービス強化策であると考ええるなど、賛否両論ある。

いずれにしても、なんとかして学生に積極的な行動を促したい一心から個別名指しでの呼び出しを行った。本問は、上記のような背景と考えかたがあって、“呼び出し”という方法の可否に対する学生への問いかけであり、平成13年度における回答結果は次のとおりである。

回答者数 136人

- ①このままでよい——119人(回答者136人中87.5%)

自由記述された意見、感想等を拾ってみると——

- ・焦っているときに心強く感じた。
- ・ひとりで探すのは大変なので助かる。
- ・なかなか役に立った。
- ・いろいろな求人を紹介して欲しい。
- ・このままでよいがもっと早くからやって欲しい。
- ・メールボックスを使う呼び出しでもよいと思う。

- ②他の呼び出し方法がよい——14人

・メール：4人 ・放送：1人

- ・自宅へ Tel：1人 など
- ③個人で活動するので紹介は必要ない
—— 2人

4. 考察と課題

就職活動は、およそ半年以上の長期間。「資料請求」の量、「資料室利用」の頻度、「インターネット利用」の機会などは比較的少なく、情報は求人票あるいは就職部頼り。——これが、今回の調査からみえてくる女子短大生の就職活動の最大公約数的な行動パターンであろう。

活動は、4月ごろから10月ごろまで五月雨式に続き、11月ごろその終息となる。就職活動のための求人情報は短大へ寄せられる求人票を頼りにしている例が非常に多く、積極的に、資料請求するものは少数派である。インターネットの利用度は決して高率とはいえない。インターネットサイトでは、短大生の多くが狙う求人先について満足できるそして納得できる情報は得にくいことにもよると推察する。また、就職資料室の利用度も決して高くはない。このことは、活用しただけの資料が少ないのか、資料で調査することを必要としないのか更に追求する必要もある。

次に、就職ガイダンスの内容に対する反応では、多くの示唆を受けた。

例えば、ガイダンス時の話だけでは、満足できる内容とはならない「自己分析法」「就職したい企業の探し方」「就職試験内容」などに支援強化の要望が多い。今後、ガイダンス以外の時間を確保して支援策を構築する必要がある。また、「履歴書の書き方」「電話のかけ方」「お礼状の書き方」など、基本的な事項についてももっと詳しく知りたいという声が多くあり、さらに丁寧な説明を心がけなければならない。

就職部が適当に求人情報を取捨選択して個人個人に紹介する方法については、“過保護”の懸念もあるが、学生からの評価は高い。就職部としては、個別に新しい活動状況を把握する機会となるという副次的な効果を認めて、

この手段は続けることになろう。

毎年秋に行われる「私立短大就職担当者研修会」（主催：（財）私学研修福祉会、協力：日本私立短期大学協会）でのグループ討議に付された主なテーマを拾ってみると——

- ・学生に対する就職指導・進路支援のあり方（平成9年度、10年度、12年度、13年度）
- ・多様化する社会環境に対する就職指導のあり方（平成8年度、9年度）
- ・就職意識の高揚策（平成8年度、9年度、10年度、11年度、12年度）
- ・進路・就職支援の実際とその方法、就職ガイダンス・講座等（平成9年度、12年度）

このようなテーマに対して、方法論としては、「全学的な取り組みの強化」、「保護者へのアピール」、「個別指導の徹底」などが課題としてまとめられている。

すべての課題について、「こうすればよいという」決定的な公式はなく、結局は、各短大の置かれた環境や学生像をふまえて具体的な諸施策を練ることになる。

おわりに

平成14年9月の完全失業率（季節調整値）は、5.4%で前月と同じ水準。完全失業者数は365万人と前年同月比で8万人増（総務省29日発表）。9月の有効求人倍率（季節調整値）は0.55倍と前月より0.01ポイント上昇（厚生労働省同日発表）。雇用情勢は「依然として厳しい」との判断。（14.10.29 日本経済新聞夕刊より）

冒頭で述べた平成8年以降の厳しい一般雇用情勢は、現時点でも上記のとおりで、改善の兆しがみられないことを物語っている。したがって短大生をとりまく就職環境は、当分「超氷河期」が続くのであろう。学生たちが厳しい環境に負けず、自らの進路を切り開いていくために、多くの示唆を得た今回の調査結果をふまえてさらに効果的な支援策を推進しなければならない。（完）

(付表0-1)

就職活動の開始と進路決定の時期

単位 回答数:人 比率:%

[活動開始時期]														
	8年度		9年度		10年度		11年度		12年度		13年度		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
3月以前	40	9.6	54	11.7	13	3.9	31	15.3	23	11.6	13	12.5	174	10.2
4月	49	11.8	42	9.1	45	13.5	24	11.9	23	11.6	4	3.8	187	10.9
5月	49	11.8	65	14.1	35	10.5	26	12.9	28	14.1	6	5.8	209	12.2
6月	59	14.2	77	16.7	51	15.3	24	11.9	25	12.6	12	11.5	248	14.5
7月	80	19.2	70	15.2	35	10.5	24	11.9	26	13.1	16	15.4	251	14.6
8月	44	10.6	58	12.6	61	18.3	16	7.9	17	8.6	15	14.4	211	12.3
9月	36	8.7	44	9.5	28	8.4	32	15.8	27	13.6	20	19.2	187	10.9
10月	25	6.0	24	5.2	37	11.1	15	7.4	14	7.1	13	12.5	128	7.5
11月	19	4.6	13	2.8	16	4.8	3	1.5	10	5.1	3	2.9	64	3.7
12月	12	2.9	10	2.2	10	3.0	7	3.5	3	1.5	2	1.9	44	2.6
1月	3	0.7	3	0.7	2	0.6	0	0.0	2	1.0	0	0.0	10	0.6
2月	0	0.0	1	0.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.1
3月	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	416	100.0	461	100.0	333	100.0	202	100.0	198	100.0	104	100.0	1714	100.0

[進路決定時期]														
	8年度		9年度		10年度		11年度		12年度		13年度		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
3月以前	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4月	0	0.0	0	0.0	2	0.9	2	1.7	1	0.8	0	0.0	5	0.4
5月	4	1.0	4	1.1	5	2.1	2	1.7	1	0.8	0	0.0	16	1.3
6月	5	1.3	13	3.7	20	8.6	6	5.0	7	5.5	5	7.9	56	4.4
7月	38	9.9	59	16.7	27	11.6	16	13.4	11	8.7	3	4.8	154	12.0
8月	48	12.5	52	14.7	24	10.3	12	10.1	10	7.9	1	1.6	147	11.5
9月	41	10.7	41	11.6	20	8.6	7	5.9	15	11.8	5	7.9	129	10.1
10月	85	22.1	63	17.8	45	19.3	25	21.0	25	19.7	12	19.0	255	19.9
11月	59	15.4	53	15.0	42	18.0	20	16.8	18	14.2	14	22.2	206	16.1
12月	60	15.6	33	9.3	37	15.9	20	16.8	32	25.2	18	28.6	200	15.6
1月	37	9.6	28	7.9	7	3.0	6	5.0	4	3.1	5	7.9	87	6.8
2月	4	1.0	4	1.1	3	1.3	2	1.7	3	2.4	0	0.0	16	1.3
3月	3	0.8	3	0.8	1	0.4	1	0.8	0	0.0	0	0.0	8	0.6
合計	384	100.0	353	100.0	233	100.0	119	100.0	127	100.0	63	100.0	1279	100.0

就職活動に関する短大生の行動と意識

(付表1-1)

求人情報の入手先

単位 回答数:人 比率:%

回答者数	8年度		9年度		10年度		11年度		12年度		13年度		合計	
	643		566		451		299		249		148		2356	
	8年度		9年度		10年度		11年度		12年度		13年度		合計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 就職部の先生	92	14.3	79	14.0	40	8.9	37	12.4	80	32.1	53	35.8	381	16.2
2. 担任の先生	21	3.3	14	2.5	7	1.6	12	4.0	5	2.0	5	3.4	64	2.7
3. その他の先生	27	4.2	20	3.5	14	3.1	15	5.0	14	5.6	6	4.1	96	4.1
4. 高校の先生	14	2.2	18	3.2	8	1.8	3	1.0	0	0.0	1	0.7	44	1.9
5. 先輩	13	2.0	9	1.6	9	2.0	4	1.3	1	0.4	0	0.0	36	1.5
6. 家庭・親戚	147	22.9	115	20.3	88	19.5	55	18.4	38	15.3	27	18.2	470	19.9
7. 友人	52	8.1	38	6.7	46	10.2	22	7.4	13	5.2	8	5.4	179	7.6
8. アルバイト先	27	4.2	21	3.7	8	1.8	5	1.7	5	2.0	2	1.4	68	2.9
9. 求人票	314	48.8	281	49.6	258	57.2	172	57.5	150	60.2	94	63.5	1269	53.9
10. 就職の手引き	30	4.7	17	3.0	20	4.4	13	4.3	11	4.4	6	4.1	97	4.1
11. 就職資料室	136	21.2	109	19.3	105	23.3	70	23.4	61	24.5	23	15.5	504	21.4
12. 掲示板	155	24.1	127	22.4	130	28.8	77	25.8	63	25.3	28	18.9	580	24.6
13. 学生情報センター	83	12.9	60	10.6	63	14.0	46	15.4	38	15.3	22	14.9	312	13.2
14. 企業展	199	30.9	162	28.6	131	29.0	85	28.4	59	23.7	32	21.6	668	28.4
15. インターネット	3	0.5	4	0.7	24	5.3	35	11.7	48	19.3	28	18.9	142	6.0
16. 電話帳	0	0.0	52	9.2	53	11.8	31	10.4	10	4.0	8	5.4	154	6.5
17. ガイドブック	74	11.5	37	6.5	32	7.1	19	6.4	17	6.8	8	5.4	187	7.9
18. 新聞	91	14.2	78	13.8	39	8.6	26	8.7	27	10.8	11	7.4	272	11.5
19. 市販の求人雑誌	51	7.9	52	9.2	21	4.7	18	6.0	14	5.6	6	4.1	162	6.9
回答数の合計	1,529		1,293		1,096		745		654		368		5,685	

※比率:各項目の回答数÷各年度の回答者数

(付表4-1)

就職活動にインターネットを利用した状況

単位 回答数:人 比率:%

[利用の有無]										
	10年度		11年度		12年度		13年度		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
あ る	51	11.4	107	34.6	127	48.7	79	51.6	364	31.1
な い	398	88.6	202	65.4	134	51.3	74	48.4	808	68.9
計	449	100.0	309	100.0	261	100.0	153	100.0	1172	100.0
無回答	67	—	38	—	30	—	17	—	152	—
合 計	516	—	347	—	291	—	170	—	1324	—
[利用した場所]										
自宅	10	19.2	15	12.8	53	34.6	35	34.0	113	26.6
友人知人宅	5	9.6	8	6.8	4	2.6	4	3.9	21	4.9
情報館	26	50.0	79	67.5	92	60.1	49	47.6	246	57.9
ネットカフェ	0	0.0	2	1.7	1	0.7	2	1.9	5	1.2
その他	11	21.2	13	11.1	3	2.0	13	12.6	40	9.4
計	52	100.0	117	100.0	153	100.0	103	100.0	425	100.0
[利用した目的]										
求人検索	25	46.3	51	42.9	60	38.7	40	41.2	176	41.4
企業情報検索	26	48.1	53	44.5	71	45.8	48	49.5	198	46.6
メールで応募	1	1.9	12	10.1	19	12.3	6	6.2	38	8.9
その他	2	3.7	3	2.5	5	3.2	3	3.1	13	3.1
計	54	100.0	119	100.0	155	100.0	97	100.0	425	100.0
[利用しなかった理由]										
パソコンなし	225	44.8	83	35.8	49	36.3	33	40.7	390	41.1
関心なし	67	13.3	61	26.3	17	12.6	7	8.6	152	16.0
必要なし	54	10.8	32	13.8	23	17.0	17	21.0	126	13.3
操作未熟	142	28.3	38	16.4	33	24.4	9	11.1	222	23.4
その他	14	2.8	18	7.8	13	9.6	15	18.5	60	6.3
計	502	100.0	232	100.0	135	100.0	81	100.0	950	100.0

就職活動に関する短大生の行動と意識

(付表5-0)

就職ガイダンスで参考になった点

単位 回答数:人 比率:%

有効回答数	8年度 389	9年度 297	10年度 287	11年度 163	12年度 153	13年度 93	全体数 1382
-------	------------	------------	-------------	-------------	-------------	------------	-------------

	8年度		9年度		10年度		11年度		12年度		13年度		合計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 自己分析方法	11	2.8	13	4.4	3	1.0	3	1.8	7	4.6	3	3.2	40	2.9
2. 就職活動の仕組み	108	27.8	68	22.9	65	22.6	34	20.9	35	22.9	22	23.7	332	24.0
3. 今年の就職動向	137	35.2	112	37.7	131	45.6	71	43.6	25	16.3	17	18.3	493	35.7
4. 就職協定について	5	1.3	25	8.4	7	2.4	0	0.0	1	0.7	0	0.0	38	2.7
5. 職種について	11	2.8	10	3.4	5	1.7	6	3.7	5	3.3	9	9.7	46	3.3
6. 業種について	9	2.3	5	1.7	3	1.0	1	0.6	2	1.3	4	4.3	24	1.7
7. 給与の仕組み	4	1.0	0	0.0	1	0.3	2	1.2	0	0.0	1	1.1	8	0.6
8. 保険等福利厚生	4	1.0	0	0.0	0	0.0	1	0.6	1	0.7	1	1.1	7	0.5
9. 資料請求の仕方	24	6.2	19	6.4	8	2.8	4	2.5	3	2.0	3	3.2	61	4.4
10. 面接の仕方	57	14.7	23	7.7	38	13.2	22	13.5	25	16.3	17	18.3	182	13.2
11. 契約社員・派遣社員	13	3.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.7	1	1.1	15	1.1
12. 就職したい企業の探し方	11	2.8	9	3.0	10	3.5	5	3.1	2	1.3	4	4.3	41	3.0
13. 公務員の活動の仕方	3	0.8	8	2.7	4	1.4	2	1.2	1	0.7	2	2.2	20	1.4
14. 幼稚園の活動の仕方	18	4.6	31	10.4	26	9.1	23	14.1	15	9.8	12	12.9	125	9.0
15. 会社訪問の仕方	53	13.6	31	10.4	31	10.8	9	5.5	10	6.5	6	6.5	140	10.1
16. 履歴書の書き方	17	4.4	28	9.4	28	9.8	20	12.3	12	7.8	8	8.6	113	8.2
17. 電話のかけ方	74	19.0	25	8.4	25	8.7	13	8.0	25	16.3	15	16.1	177	12.8
18. 服装について	21	5.4	10	3.4	19	6.6	8	4.9	5	3.3	6	6.5	69	5.0
19. 求人票の見方	9	2.3	7	2.4	7	2.4	4	2.5	5	3.3	13	14.0	45	3.3
20. 就職試験内容	10	2.6	13	4.4	7	2.4	11	6.7	6	3.9	2	2.2	49	3.5
21. お礼状の書き方	12	3.1	13	4.4	12	4.2	6	3.7	5	3.3	3	3.2	51	3.7
回答数の合計	611		450		430		245		191		149		2076	

※比率:各項目の回答数÷各年度の有効回答数

(付表6-0)

就職ガイダンスでもっと知りたかった点

単位 回答数:人 比率:%

有効回答数	8年度		9年度		10年度		11年度		12年度		13年度		全体数	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
	320		256		250		140		120		73		1159	
1. 自己分析方法	14	4.4	3	1.2	20	8.0	10	7.1	6	5.0	6	8.2	59	5.1
2. 就職活動の仕組み	21	6.6	5	2.0	22	8.8	5	3.6	6	5.0	4	5.5	63	5.4
3. 今年就職動向	12	3.8	12	4.7	17	6.8	6	4.3	6	5.0	7	9.6	60	5.2
4. 就職協定について	5	1.6	11	4.3	5	2.0	1	0.7	1	0.8	0	0.0	23	2.0
5. 職種について	24	7.5	16	6.3	16	6.4	10	7.1	6	5.0	0	0.0	72	6.2
6. 業種について	18	5.6	11	4.3	14	5.6	6	4.3	10	8.3	0	0.0	59	5.1
7. 給与の仕組み	14	4.4	7	2.7	13	5.2	10	7.1	4	3.3	4	5.5	52	4.5
8. 保険等福利厚生	19	5.9	10	3.9	8	3.2	7	5.0	3	2.5	6	8.2	53	4.6
9. 資料請求の仕方	10	3.1	8	3.1	8	3.2	3	2.1	3	2.5	0	0.0	32	2.8
10. 面接の仕方	56	17.5	62	24.2	53	21.2	25	17.9	32	26.7	19	26.0	247	21.3
11. 契約社員・派遣社員	9	2.8	3	1.2	7	2.8	10	7.1	4	3.3	3	4.1	36	3.1
12. 就職したい企業の探し方	43	13.4	33	12.9	29	11.6	21	15.0	13	10.8	6	8.2	145	12.5
13. 公務員の活動の仕方	26	8.1	23	9.0	21	8.4	9	6.4	6	5.0	4	5.5	89	7.7
14. 幼稚園の活動の仕方	34	10.6	26	10.2	21	8.4	9	6.4	6	5.0	3	4.1	99	8.5
15. 会社訪問の仕方	38	11.9	25	9.8	31	12.4	10	7.1	12	10.0	5	6.8	121	10.4
16. 履歴書の書き方	27	8.4	22	8.6	18	7.2	12	8.6	15	12.5	10	13.7	104	9.0
17. 電話のかけ方	33	10.3	36	14.1	25	10.0	15	10.7	9	7.5	8	11.0	126	10.9
18. 服装について	5	1.6	6	2.3	9	3.6	8	5.7	2	1.7	0	0.0	30	2.6
19. 求人票の見方	8	2.5	7	2.7	10	4.0	5	3.6	1	0.8	2	2.7	33	2.8
20. 就職試験内容	20	6.3	27	10.5	35	14.0	19	13.6	10	8.3	11	15.1	122	10.5
21. お礼状の書き方	46	14.4	35	13.7	27	10.8	18	12.9	10	8.3	8	11.0	144	12.4
回答数の合計	482		388		409		219		165		106		1769	

※比率:各項目の回答数÷各年度の有効回答数

就職活動に関する短大生の行動と意識

(付表7-0)

就職ガイダンスで参考にならなかった点

単位 回答数:人 比率:%

有効回答数	8年度 144		9年度 106		10年度 127		11年度 56		12年度 46		13年度 33		全体数 512	
	8年度		9年度		10年度		11年度		12年度		13年度		合計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1. 自己分析方法	19	13.2	13	12.3	13	10.2	10	17.9	4	8.7	6	18.2	65	12.7
2. 就職活動の仕組み	6	4.2	5	4.7	9	7.1	2	3.6	3	6.5	1	3.0	26	5.1
3. 今年の就職動向	17	11.8	8	7.5	17	13.4	3	5.4	4	8.7	2	6.1	51	10.0
4. 就職協定について	2	1.4	5	4.7	3	2.4	3	5.4	2	4.3	1	3.0	16	3.1
5. 職種について	5	3.5	3	2.8	9	7.1	2	3.6	1	2.2	2	6.1	22	4.3
6. 業種について	5	3.5	2	1.9	6	4.7	3	5.4	1	2.2	2	6.1	19	3.7
7. 給与の仕組み	6	4.2	4	3.8	9	7.1	2	3.6	1	2.2	3	9.1	25	4.9
8. 保険等福利厚生	6	4.2	7	6.6	8	6.3	4	7.1	4	8.7	2	6.1	31	6.1
9. 資料請求の仕方	7	4.9	6	5.7	2	1.6	3	5.4	2	4.3	4	12.1	24	4.7
10. 面接の仕方	8	5.6	9	8.5	10	7.9	3	5.4	3	6.5	2	6.1	35	6.8
11. 契約社員・派遣社員	7	4.9	5	4.7	7	5.5	5	8.9	1	2.2	3	9.1	28	5.5
12. 就職したい企業の探し方	13	9.0	10	9.4	12	9.4	5	8.9	5	10.9	0	0.0	45	8.8
13. 公務員の活動の仕方	16	11.1	9	8.5	7	5.5	5	8.9	3	6.5	1	3.0	41	8.0
14. 幼稚園の活動の仕方	27	18.8	12	11.3	11	8.7	5	8.9	3	6.5	3	9.1	61	11.9
15. 会社訪問の仕方	8	5.6	8	7.5	12	9.4	5	8.9	3	6.5	1	3.0	37	7.2
16. 履歴書の書き方	4	2.8	6	5.7	5	3.9	4	7.1	4	8.7	2	6.1	25	4.9
17. 電話のかけ方	5	3.5	2	1.9	9	7.1	4	7.1	2	4.3	2	6.1	24	4.7
18. 服装について	11	7.6	5	4.7	3	2.4	2	3.6	3	6.5	0	0.0	24	4.7
19. 求人票の見方	6	4.2	3	2.8	2	1.6	4	7.1	0	0.0	0	0.0	15	2.9
20. 就職試験内容	21	14.6	10	9.4	13	10.2	4	7.1	4	8.7	1	3.0	53	10.4
21. お礼状の書き方	14	9.7	6	5.7	10	7.9	7	12.5	0	0.0	5	15.2	42	8.2
回答数の合計	213		138		177		85		53		43		709	

※比率:各項目の回答数÷各年度の有効回答数

— 就職部 —